



## 2017年4月 キャリアの東経大に、 「キャリアデザインプログラム」誕生

2017年4月から“就業力”を自ら育成する基礎を身につける『キャリアデザインプログラム』の導入を決定し、カリキュラムなど具体的な検討が進められています。入学時には学部を決めずに、50人の定員を4つある各学部から割り当て、A0入試と一般入試の全方式で受験生を募集する予定です。2004年に開設された『21世紀教養プログラム』以来、13年ぶりに行う新たな学部横断型の履修プログラム導入となります。



**キャリアデザインプログラム設置準備委員会 委員長**  
**学長補佐・コミュニケーション学部准教授**  
**北山 聡**

『キャリアデザインプログラム』の主な特徴としては、4年間を通じてキャリア教育を行うこと、入学時には学部を特定せずに1年次に入門科目を学び、2年次から学部所属し専門科目を学ぶこと、学部横断型の広い分野の科目を履修可能なことの3点が挙げられます。

まず4年間を通じたキャリア教育としては、少人数制の『キャリアデザインワークショップ』を1年次から4年次まで開講します。この『キャリアデザインワークショップ』では、学生自身が自らのキャリアについて主体的に考える力を、少人数参加型の講義で段階的に身につけていくことを目指します。また並行して、学内志塾『大倉進一層キャリア塾』を設立し、希望者から選抜を行い、キャリア意識の高い学生への支援を強化する計画です。

第2の特徴は、2年次から学部所属し、各学部の専門科目を学んでいくことです。『キャリアデザインプログラム』に入学した学生は、1年次には各学部の入門科目を4学部にわたって履修します。その入門科目を学んだ後、2年次からの所属学部選択が可能となります。



受験生の中には、大学に入ってから学びのイメージを具体的なものとして抱くことができないまま、大学選びや学部選びを行っている人が少なくありません。これが入学後に「自分が学びたかったこと」と「自分が入った大学や学部で学べること」の差となって、学びに対する意欲が低下してしまう、いわゆるミスマッチ現象が起こる要因のひとつとなっています。

『キャリアデザインプログラム』では、専門の入門科目を学ぶことを通じて、自らの関心が高い分野を発見し、2年次からの学部を選ぶことができます。以降は、各学部のカリキュラムに沿って履修していくため、十分な専門教育を受けることが可能です。また卒業時には、2年次以降に所属した学部の学士号を取得します。



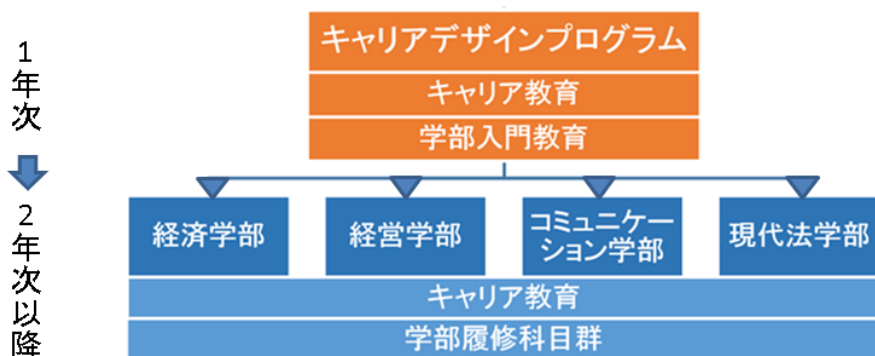
キャリアデザインプログラムでは、就業力を自ら育成する基礎を身につけるための教育を行います。

1年次において経済・経営・コミュニケーション・現代法という4学部の入門科目を学ぶことで、広く社会科学素養を養うことが可能になることも、同プログラムで入学した学生のメリットといえるでしょう。

第3には、学部横断型の履修が可能な仕組みを設けます。本学では、社会科学の総合大学として上記4つの分野にわたって多くの専門科目を開講しています。これらさまざまな専門科目から、自身の関心が高い学部横断型の科目を履修できることは、学生主体の多面的な関心に基づいた学びを可能にします。

現在でも各学部で他学部の科目をカリキュラムの一部に取り入れています。これを4学部に通用化して拡大し、履修可能科目を増やしたものが『学部横断履修科目』です。学生が履修する科目をテーマごとにクラスターとしてまとめて提示することで、学生個人の関心に基づく体系的履修を促すことができるような仕組みをつくる計画です。

■キャリアデザインプログラムのイメージ図





学内志塾『大倉進一層キャリア塾』では、希望者から選抜を行い、キャリア意識の高い学生を支援します。

『キャリアデザインプログラム』の目指すキャリア教育とは、就職試験や面接対策という短期的に必要な就職対策のノウハウだけ

けでなく、学生が生涯を通じて持続的に就業力を自ら育成する基礎を身につけるための教育です。またキャリア教育を通じて、大学で学ぶ学問と仕事・職業との結びつきを意識させることで、学習へのモチベーションを高めることができると考えています。

就業力の基礎となる論理的思考能力、自らの考えを表現し伝える力、必要な情報を探し出し整理・理解する力、問題発見・理解・解決能力といった力は、ジェネリックスキルとも呼ばれます。このスキルは大学における学問的な学びを通して身につけることができます。その意味では、大学教育とキャリア教育は対立するものではなく、むしろ補完するものといえます。

大学における学びはジェネリックスキルを身につけるために有効であり、長期的に役に立つものであることを学生に伝えることで、学びに対して意欲と関心を引き出すことができます。また2年次から学部を選択可能とすることは、本学が社会科学系4学部であることのメリットを有効に生かせる仕組みでもあります。



卒業生を招いた情報交換会も行われます。

『キャリアデザインプログラム』は本学の強化してきた就業力育成を強化する取り組みです。キャリア教育の充実を図ったプログラムを実施することで、さらにそれを強化できることが大きなメリットとなります。2017年度から3学部を導入予定のカリキュラム改革『進一層科目』（仮称）によるゼミやキャリア教育の強化と併せて、教学改革による教育力向上を広くアピールしていく予定です。